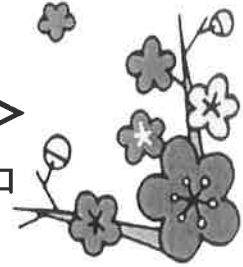




## ちゅういっぷ組だより<2月号>

令和5年 2月 20日 ことり保育園 担当：野口



暦の上ではもう春ですが、まだまだ寒さが厳しいこの季節、子ども達の笑顔と笑い声が暖かさを感じさせてくれます。

先日は、保育参観にご出席いただきありがとうございました。前回は、保護者から離れられずにいた子ども達が、今回はいろいろな遊びに興味津々で、普段のように遊ぶことが出来ました。ポットン落としのような指先を使った遊びを、長い時間楽しめるようになったので、“保護者の方と一緒に”を喜びながら、やる気満々で一人一人が笑顔で過ごしている様子を見ていただくことが出来、嬉しかったです。また、その姿がとても微笑ましかったです。

さて最近、日常生活の中でも、さまざまなことに興味を持ち、意欲的に行なおうとする姿が見られます。排泄時には、ズボンやオムツの着脱をしようとしたり、食事面では、「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶が習慣づいてきました。

食前には手を洗ったり、食後には手や口を拭こうとします。給食も最後まで自分で食べようとする子が多くなりました。



また、運動面でも、トンネルをハイハイでくぐるのが速くなったり、高いマットの山をよじ登ろうとしたり、両足でジャンプをしようとする子がいたり、全身を使って遊び、動きも活発になってきました。今後も進級に向けて「自分で！」という意欲を大切に育てていけるよう、励ましながら楽しく生活していきたいと思います。

